

後期基本計画 令和 4年度 施策方針評価書

政 策：05 学びにより充実した人生を送ることができるまち

基本施策：05 学びの環境の充実と文化芸術の継承

施 策：02 文化芸術の振興

施策担当職・氏名 文化振興課総括主査 井上 雅孝

1. 施策の令和 4年度までの実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

・市民が芸術に親しみ、文化活動に取り組むことを始め、芸術祭の開催や各種発表会、芸術文化団体への支援を図り、発表の場や鑑賞の機会の確保、充実に努めます。また、引き継がれている貴重な文化財の適正な保護に努めるとともに、文化財への理解を深めるため活用を図り、郷土芸能まつり等の郷土芸能伝承活動を推進してまいります。

・刊行された郷土史「滝沢市の歩み」を活用した郷土理解の推進を図ります。

・指定文化財の保護活用に努めます。

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 滝沢市芸術祭・郷土芸能まつりの入場者数 単 位 人以上	2,630	2,630	2,630	2,630	2,630	2,630	D
	単 位	4,244	1,181	0	2,820	2,820	0.0	
	単 位							
	単 位							

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	1934 芸術祭開催事業 「芸術祭たきざわ」の入場者数 単 位 人	目標値	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
		実績	3,685	1,181	0	2,419	-	-
2	2070 伝統文化支援事業 伝統文化関連事業開催数 単 位 回	目標値	1	1	1	1	1	1
		実績	1	0	0	1	-	-
	単 位	目標値						
		実績						
	単 位	目標値						
		実績						
	単 位	目標値						
		実績						

後期基本計画 令和 4年度 施策方針評価書

政 策 : 05 学びにより充実した人生を送ることができるまち

基本施策 : 05 学びの環境の充実と文化芸術の継承

施 策 : 02 文化芸術の振興

施策担当職・氏名 文化振興課総括主査 井上 雅孝

2. 施策の実現に向けての令和 4年度までの取り組み状況を分析する

(1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・芸術祭については、コロナ禍により令和3年度は中止しましたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、芸術文化協会との連携協力により開催し、市民に発表の場と芸術鑑賞の機会を提供しました。 ・市埋蔵文化財センターでは、埋蔵文化財講座、体験講座を実施し、文化財への市民理解の促進を図りました。 ・郷土芸能まつりについては、コロナ禍により令和2年度と令和3年度は中止しましたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施し、広く市の伝統芸能文化の周知を図ることができました。 ・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、事業実施を行い、文化芸術の振興に努めました。 	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <p>芸術祭の実行委員会組織化と芸術文化協会事務局体制の強化を支援するとともに、指定文化財の掘り起こしや保護を図り、埋蔵文化財、民俗資料などの民俗資料の活用と学習機会の提供に努めます。</p> <p>【重点課題に対応した達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化協会と、芸術祭の運営や事務局体制について協議を図り、団体活動支援に努めました。 ・天然記念物カワシヅユガイ、市無形文化財滝沢市さんさ踊り、大沢さんさ踊りを市指定文化財に指定しました。 	

3. 施策の実現に向けての令和 4年度実施後での変化を認識する

(1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<ul style="list-style-type: none"> ・地域においては多様な文化芸術活動が取り組まれておりますが、その一方で高齢化が進む中、交流を深め仲間づくりをしながら、個人の趣味を深め生きがいとする文化芸術活動がますます必要となっており、その推進の拠り所となる芸術文化団体の役割は重要となっています。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により日頃の継続的な文化芸術活動が困難な状況が続いていたため、発表の場の確保や開催協力など、引き続き活動継続のための支援が必要となっています。 	

(2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
<ul style="list-style-type: none"> ・基本施策達成のため、引き続き同一内容の実施が必須であるため、見直しの必要はありません。 	

4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 6年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能伝承活動の支援を行います。 ・文化芸術振興を引き続き支援します。 <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術振興において、発表の場となる芸術祭や郷土芸能まつりの継続と関係団体への支援が重要です。 ・郷土理解推進事業の継続と文化財である指定文化財をはじめ、埋蔵文化財、一般文化財、民具の管理保全を進めます。 	

後期基本計画 令和 4年度 施策方針評価書

政 策 : 05 学びにより充実した人生を送ることができるまち

基本施策 : 05 学びの環境の充実と文化芸術の継承

施 策 : 02 文化芸術の振興

施策担当職・氏名 | 文化振興課総括主査 井上 雅孝

(4) 所管実行計画事業費一覧

No	事業名			計画額	実績額	比較 (%)
	分野別計画					
	実施計画					
149	埋蔵文化財センター管理運営事業			6,772	6,680	△1.4
151	埋蔵文化財センター教育普及事業			7,345	7,117	△3.1
693	埋蔵文化財調査事業			395	51	△87.1
1934	芸術祭開催事業			2,224	1,959	△11.9
2070	伝統文化支援事業			835	750	△10.2
2126	文化財・天然記念物保護事業			425	344	△19.1
2187	民具調査報告書作成事業			0	0	0.0
10468	郷土理解推進事業			60	17	△71.7